

第2回 犀川周辺エリア魅力向上整備基本計画検討委員会

日時:令和7年9月26日(金) 10:00~

場所:金沢市役所第二本庁舎 2階 2202会議室

次 第

1. 開 会

2. 議 事

(1)事務局からの資料説明

(2)意見交換

3. 閉 会

委員名簿

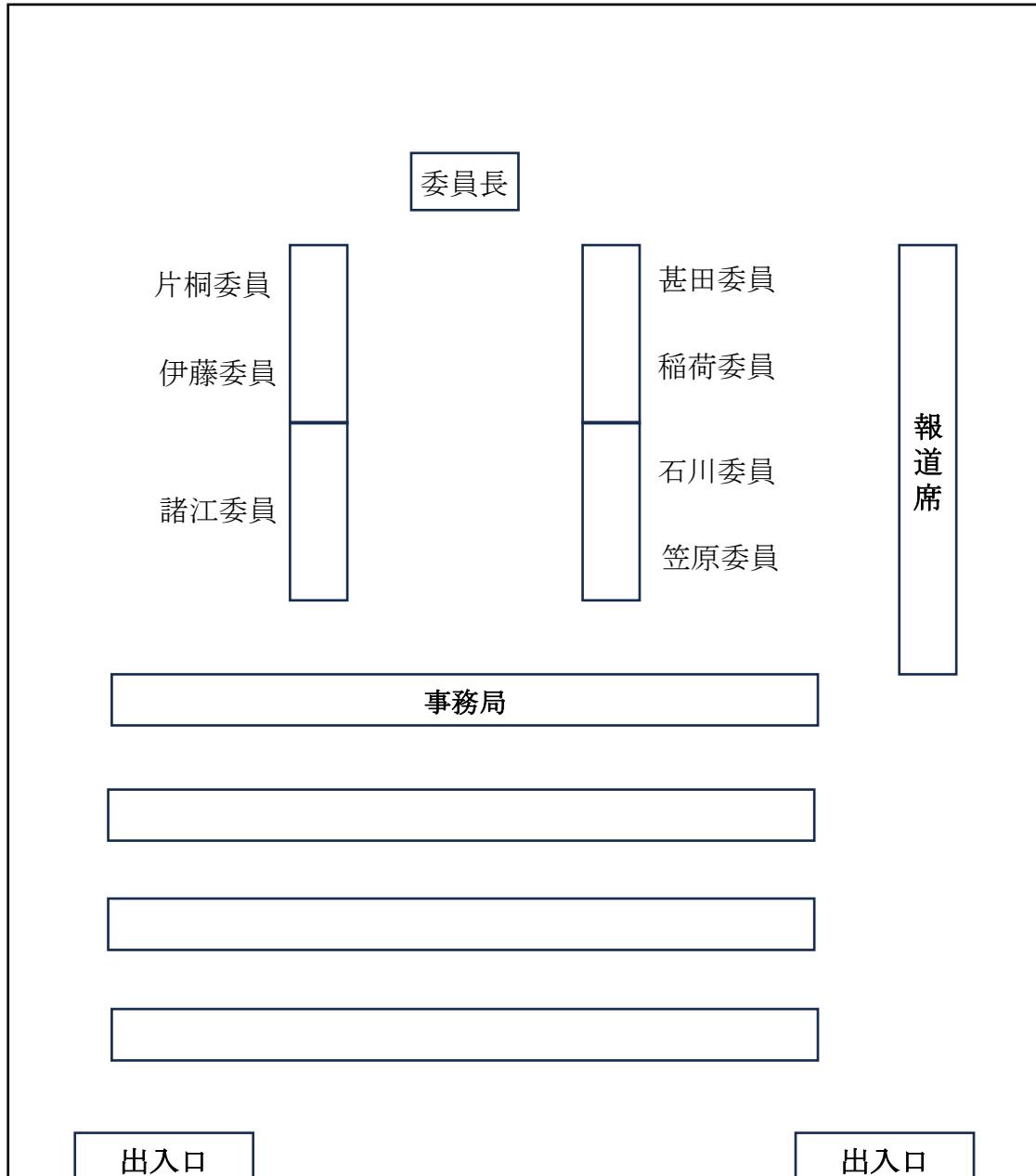
(敬称略)

氏名	団体・役職
丸 谷 耕 太	金沢大学融合研究域融合科学系 准教授
片 桐 由希子	金沢工業大学工学部 准教授
伊 藤 香 織	東京理科大学創域理工学部 建築学科 教授
諸 江 洋	金沢片町まちづくり会議 会長
甚 田 和 幸	新堅町地区町会連合会 会長
稻 荷 明 彦	幸町地区防災まちづくり協議会 会長
石 川 豊	新堅消防分団 分団長
笠 原 鳩 馬	未来へつなぐ金沢行動会議 委員

オブザーバー 石川県土木部 河川課
石川県県央土木総合事務所 河川砂防課

事務局 都市政策局企画調整課

座席図



第2回 犀川周辺エリア魅力向上整備基本計画 検討委員会

令和7年9月26日

1. 第1回会議の主な意見
2. 基本的な方向性等の検討
3. 犀川周辺エリア魅力向上整備基本計画骨子案
4. 第2回会議における意見交換の論点
5. 今後のスケジュール

回遊性・拠点性の向上

- ・河川敷周辺でのイベント時だけでなく、日常的に居心地よく楽しく過ごせる仕掛けがあると賑わいにもつながるのではないか。
- ・桜橋右岸下流河岸緑地の整備においては、**日常的な賑わいの創出と防災機能のあり方**をあわせて検討すべき。
- ・犀川周辺で日常的な賑わいを増やすためには、桜橋右岸下流河岸緑地の**拠点性**を高め、**使うきっかけを作り行く目的を生み出すこと**や、まちのりやバスなどによる**アクセス性を高める**ことが重要
- ・夜間の魅力創出を検討するにあたって**ライトアップだけでは回遊性の向上につながりにくい**のではないか。
- ・日常的な過ごし方を捉えながら、**歩きやすさや車と人の関係、自然の連続性や周辺環境との関係**を踏まえ全体的な検討を行うことで、周辺地域への賑わいや回遊性向上につながる。
- ・対象エリアは「犀川大橋－桜橋」を基本としつつ、**回遊性の観点からはもう少し広がりを持って考えてはどうか。**

新たな魅力の創出

- ・まちや人のニーズは移り変わるが、河川空間のハード整備の機会は少なく、耐用年数も長い。
長期的な視野を持ち、様々なことを受け止められるまちの基盤としてのあり方を考え、整備することが重要。
- ・桜のある魅力的な風景をこれから先も楽しむことが出来るような管理や整備のあり方を検討すべき
- ・昔も今も変わらない犀川がもたらすゆとりや美しさ、**地域の誇りを次の世代へ伝えていくことも重要。**
- ・夜の犀川や片町の雰囲気とあいまって景色を楽しめるため、**夜間照明が明るいことによって良い雰囲気が壊れることのないよう配慮すべき。**
- ・片町の賑わいの連続性と合わせて**池田町や中川除町の雰囲気の良さや落ち着いた空間の魅力**も大事にすべき。
- ・犀川大橋の眺望点に限らず、桜並木や山がきれいに見えるなど、**素晴らしい風景が沢山あるほか、左岸側には右岸側にない坂や緑地の上から望める魅力的な眺望スポットが多い。**
- ・若い世代を呼び込むため、**エリアのイメージを定着化させるような特色ある仕掛け**が必要。

1. 第1回会議の主な意見

地域の安全安心

- ・近年異常気象などが続いているため、**災害時と平常時の使い分けを考えることも大切。**
- ・**犀川大橋北詰付近の市道は特に朝・夕で自動車通行量が多く、歩行者の安全な通行が難しい。**
- ・犀川大橋周辺の安全対策として、歩車分離対策や整備のあり方を多角的に検討すべき。
- ・親水性の観点と歩行環境の改善を踏まえ、**犀川大橋北詰の階段設置**に向けた検討を進めてほしい。
- ・沿川で樹木の繁茂等により防犯上課題がある箇所があるため、歩行環境の改善に向けて検討できなか。
- ・賑わいや魅力向上につながる仕掛けを考えるにあたっては**地域住民への配慮**も重要。
- ・住民と来街者の両視点においては、**住民が楽しむ延長線上に来街者も楽しめる仕掛けづくり**が大切。
- ・散歩をしていたり、子どもが遊んでいたりする日常のイメージや川との親しみ方を計画に落とし込みたい。

【全体コンセプト】

豊かな自然と多様な魅力を生かし
日常の憩いと賑わいがつながる空間の創出

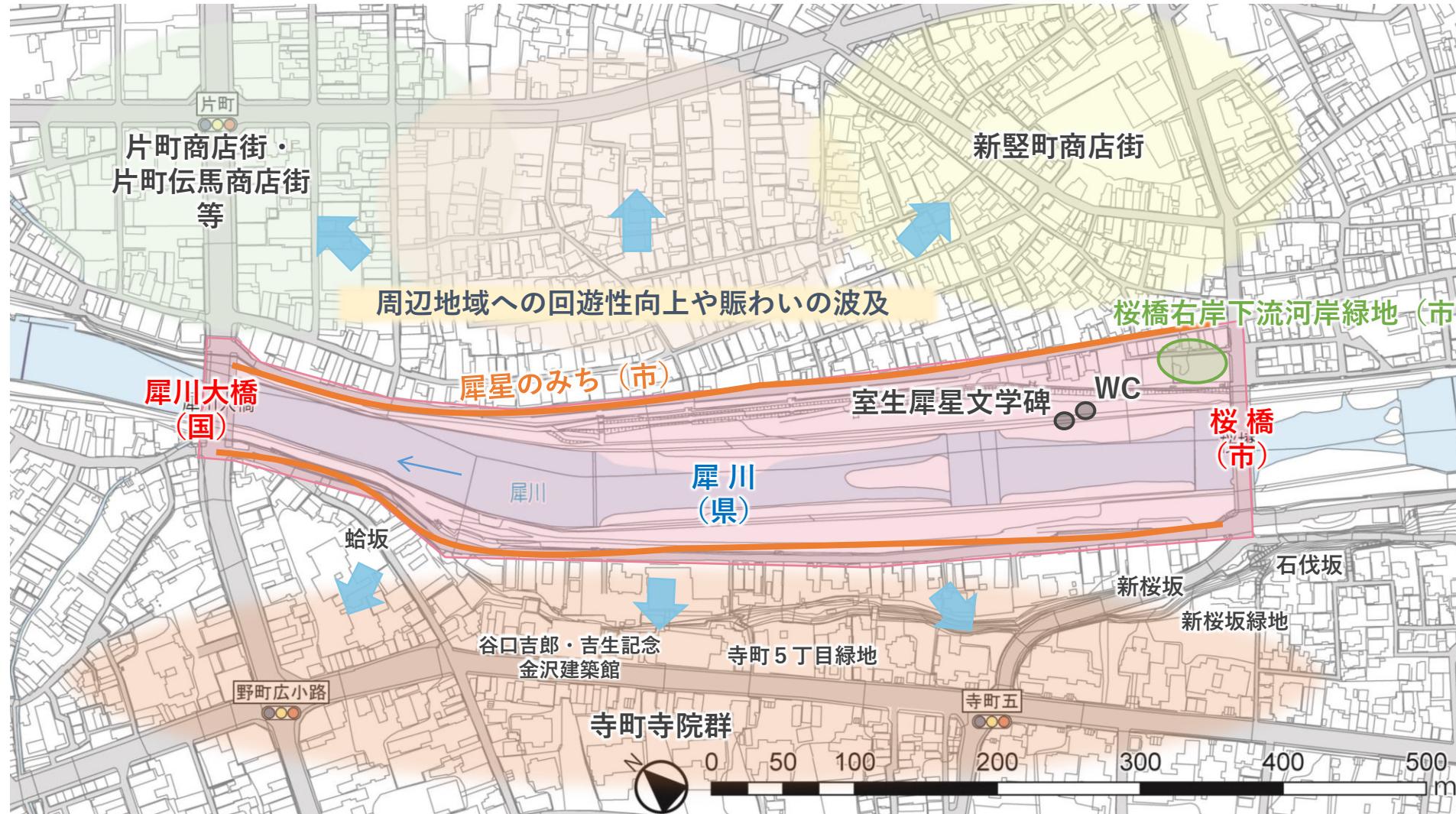
多様な地域資源を生かしながら、
市民と来街者が共に憩い、
日常的に訪れたくなる魅力的な空間づくり

2. 基本的な方向性等の検討

■参考 本整備基本計画の対象範囲

※第1回会議資料より

「犀川大橋－桜橋間」の周辺道路や緑地等（回遊性の観点で周辺地域も含む）



2. 基本的な方向性等の検討

【全体コンセプト】

豊かな自然と多様な魅力を生かし
日常の憩いと賑わいがつながる空間の創出

【基本方針】

憩いと賑わいが
つながる

まちと自然が
つながる

暮らしと安心が
つながる

- ◆滞在・回遊拠点の整備
- ◆魅力ある夜間景観の創出

- ◆河川環境の維持・向上
- ◆親水空間の充実

- ◆地域防災環境の充実
- ◆安心安全な道路交通環境の創出

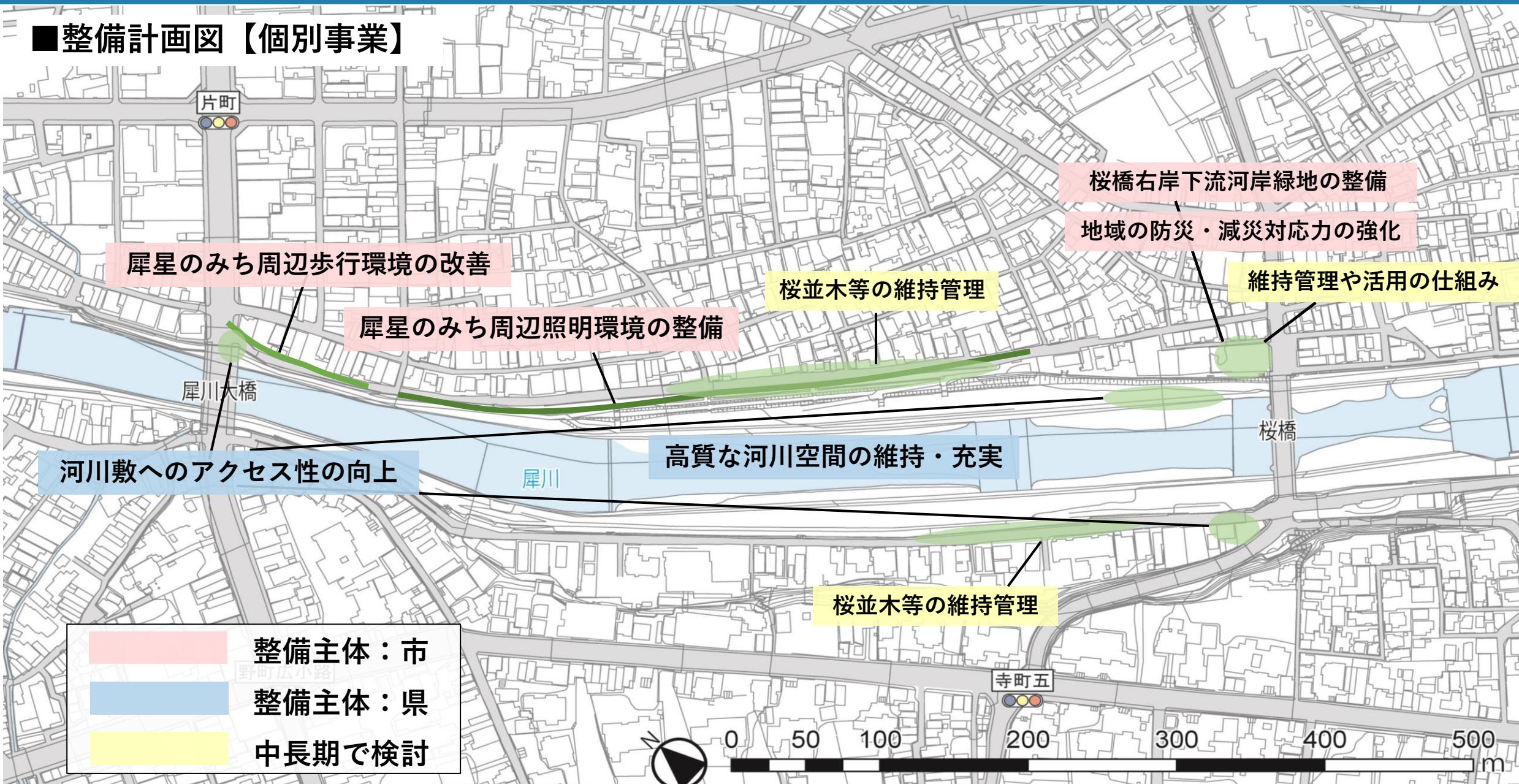
3. 整備基本計画骨子案

■個別事業及び実施方針

基本方針	個別事業	実施方針
憩いと 賑わいが つながる	滞在・回遊拠点の整備 桜橋右岸下流河岸緑地の整備	■ 滞在・回遊の拠点となる広場整備を検討 →官民連携により日常的な滞在や賑わいを創出し、河川敷を含めた利活用を促進
	魅力ある夜間景観の創出 犀星のみち周辺照明環境の整備	■ 夜間の魅力創出に資する照明環境の整備を検討 →夜間も安心して心地よく歩ける環境を創出し、エリア全体の回遊性を向上
まちと自然 がつながる	河川環境の維持・向上 高質な河川空間の維持・充実	■ 河川敷における芝生の管理やトイレの美化清掃など質の高い維持管理を実施
	桜並木等の維持管理	■ 植栽等の維持管理や老朽化が進む桜の計画的な更新を検討
	親水空間の充実 河川敷へのアクセス性の向上	■ 河川空間の利活用を促進する親水護岸や階段、ウッドデッキ等を整備
暮らしと安心 がつながる	地域防災環境の充実 地域の防災・減災対応力の強化	■ 桜橋右岸下流河岸緑地において、地域のニーズにあった防災・減災機能の導入を検討
	安心安全な 道路交通環境 の創出 犀星のみち周辺歩行環境の改善	■ 道路空間や交通規制の見直し等による歩行環境の改善策を検討

3. 整備基本計画骨子案

■整備計画図【個別事業】



3. 整備基本計画骨子案

1) 憩いと賑わいがつながる

滞在・回遊拠点の整備

3) 暮らしと安心がつながる

地域防災環境の充実

● 桜橋右岸下流河岸緑地の整備

検討の方向性（案）

- ・河川空間との連続性の確保

- ・賑わい・交流機能

- ▶川を眺めながら交流できるテラス空間
- ▶キッチンカー等の出店スペース
- ▶備品倉庫の設置

- ・防災・減災機能

- ▶防火水槽、かまどベンチなど

機能イメージ（案）



下図：GoogleEarth

3. 整備基本計画骨子案

3) 暮らしと安心がつながる

地域防災環境の充実

● 桜橋右岸下流河岸緑地の整備、地域の防災・減災対応力の強化

検討の方向性（案）

- ・地域ニーズ等に合わせた防災・減災機能の導入
- ・日常時も災害時も活用できる空間の創出

【想定される活用】

- ・地域住民の防災・減災意識の醸成
(防災講座やワークショップ、訓練等)
- ・地域防災活動の担い手育成
- ・地元消防分団との連携 など

（参考）防災機能等の導入事例

防火水槽（船橋市）



防災訓練：東公園（燕市）



かまどベンチ：東公園（燕市）



防災・備品倉庫：乙川（岡崎市）



3. 整備基本計画骨子案

1) 憩いと賑わいがつながる

魅力ある夜間景観の創出

● 犀星のみち周辺照明環境の整備

検討の方向性（案）

- ・夜も安心してそぞろ歩きを楽しめる空間
- ・回遊性向上に資する誘導性・連続性
- ・まちなみや河川空間との調和
- ・周辺の樹木等への配慮
- ・観桜期のライトアップの実施

【今後の検討事項】

- ・整備内容・手法
(既存照明の改修を含めた手法の検討)
- ・整備内容を踏まえた管理者等との協議
(道路、河川等)
- ・実証実験の検討・実施

（参考）犀星のみち桜並木ライトアップ

期間：令和7年4月4日（金）～20日（日）

（点灯時間：18時～21時30分頃まで）

場所：犀星のみち右岸側（桜橋～犀川大橋間）

主催：犀川利活用推進協議会



3. 整備基本計画骨子案

13

3) 暮らしと安心がつながる

安心安全な道路交通環境の創出

● 犀星のみち周辺歩行環境の改善

(犀川大橋北詰交差点)



検討の方向性（案）

（現状）

- ・右岸道路において抜け道利用（通過交通）が多い
- ・急減速・急ブレーキが一定程度発生
- ・特に早朝・夕方時の自動車交通量が多い
- ・歩行者・自転車等と自動車との接触の危険性

【今後の検討事項】

- ・道路空間の配分や注意喚起の見直しなどによる歩行者や自転車等の安全性の確保
(歩道箇所のペインティング、路面標示等)
- ・関係機関との調整



安全で快適な歩行環境の創出をめざす

3. 整備基本計画骨子案

2) まちと自然がつながる

河川環境の維持・向上

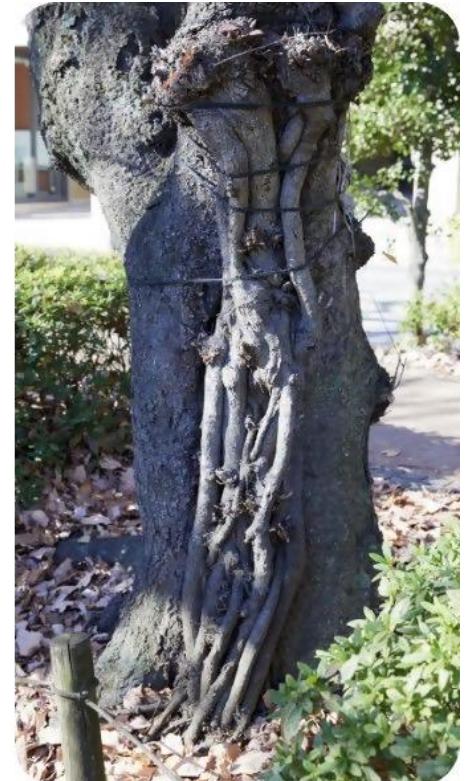
● 高質な河川空間の維持・充実、桜並木等の維持管理

現状



桜の老朽化対策（参考事例）

・樹木医による確認作業



出典：農林水産省ウェブサイト
https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2303/spe1_04.html

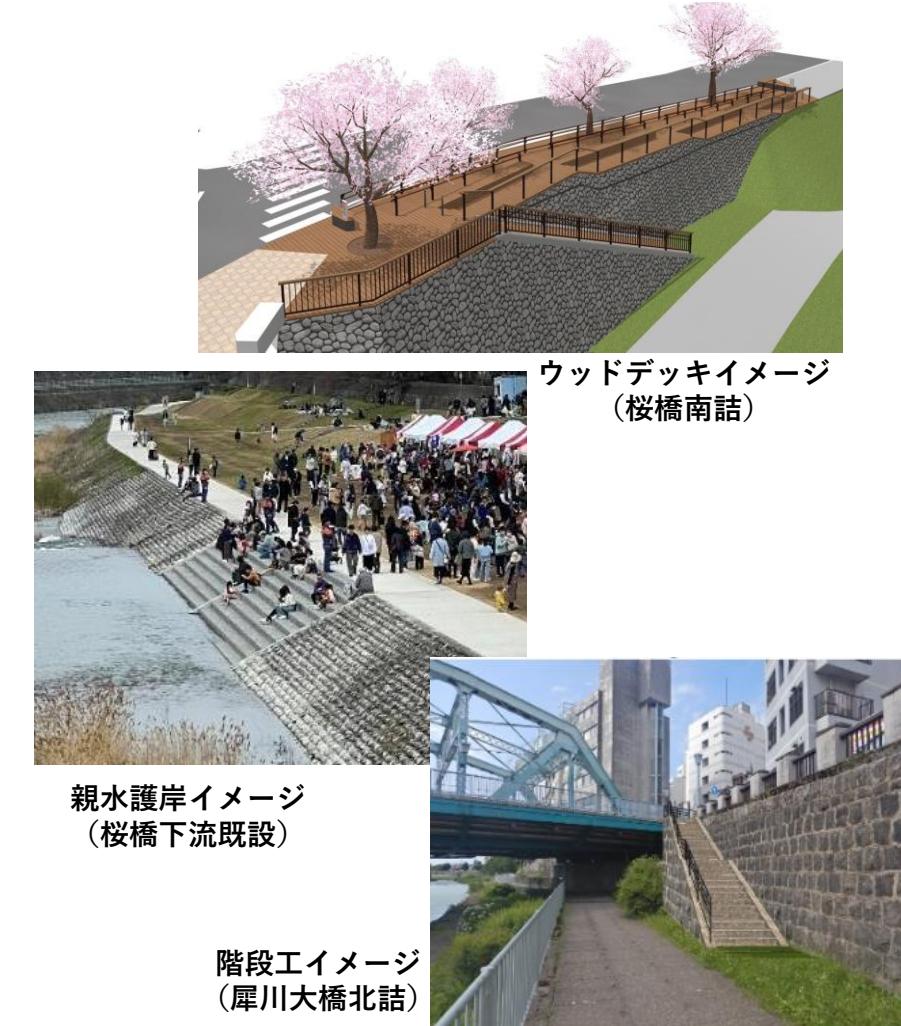
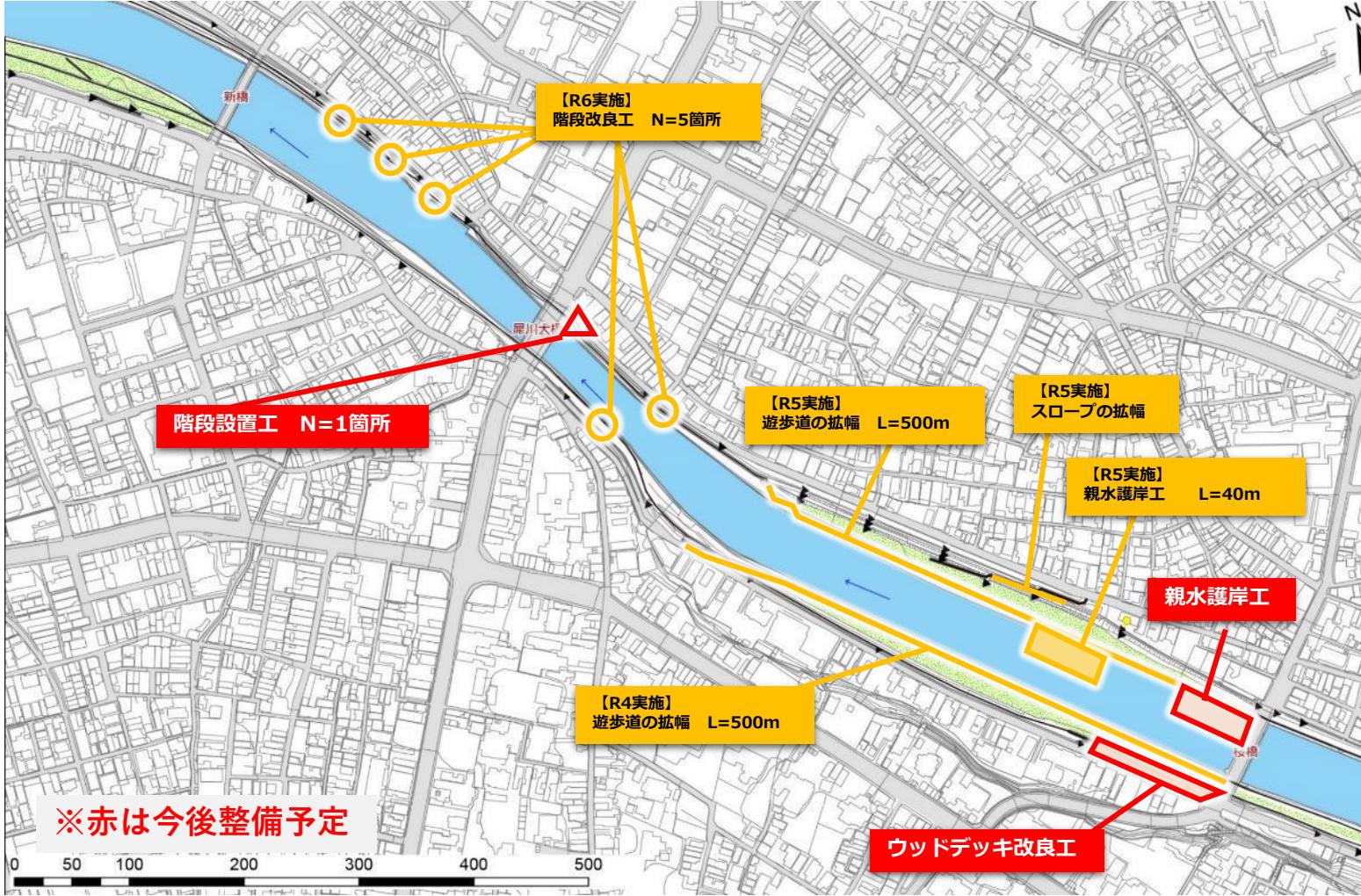
3. 整備基本計画骨子案

15

2) まちと自然がつながる

親水空間の充実

● 河川敷へのアクセス性の向上



4. 第2回会議における意見交換の論点

- ・骨子案に加えるべき視点、役割、機能
- ・整備に向けて検討すべきこと など

5. 今後のスケジュール

17

第1回会議 (7/7) 現状と課題の整理

第2回会議 (9/26) 整備基本計画の骨子案を提示

第3回会議 整備基本計画（案）をとりまとめ

年度内 整備基本計画策定
